



伊藤ハム米グループのSDGs



豊かな地球環境を未来へ

どうして重要なのか？

私たちの生活や事業活動は、地球資源に依存しているから

地球温暖化に伴う気候変動の影響は、自然災害の激甚化、作物の生産高の減少など、私たちの生活や企業の事業活動にも深刻な影響をもたらすと懸念されています。実際に、日本でも企業が集中豪雨などによる被害で生産を一時停止する事態が発生しています。パリ協定※では、先進国・途上国の区別なく、世界の平均気温の上昇を産業革命前の2℃未満(努力目標1.5℃)に抑え、21世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標としました。地球温暖化対策と経済成長の両立を実現させるための取り組みが今、求められているのです。

※パリ協定：2016年11月に発効された地球温暖化対策の国際的枠組み

1 海面上昇 高潮 (沿岸、島しょ)	2 洪水 豪雨 (大都市)	3 インフラ 機能停止 (電気供給、医療などのサービス)
4 熱中症 (死、健康被害)	将来の 主要なリスク とは？ 複数の分野地域におよぶ 主要なリスク (IPCC第5回評価報告書 WGII 注) IPCC第5回評価報告書 WGII	5 食糧不足 (食糧安全保障)
6 水不足 (飲料水、農業用水の不足)	7 海洋生態系 損失 (漁業への打撃)	8 陸上生態系 損失 (陸域及び内水の生態系喪失)

出典：IPCC第5回評価報告書 WGII
全国地球温暖化防止活動推進センター
Webサイト (<http://www.jccca.org/>) より

伊藤ハム米グループの環境理念・行動指針

環境理念

私たちは地球環境の保全が全世界共通の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動を通じて地球環境に配慮し、持続可能な社会を実現するために積極的に行動してまいります。

環境行動指針

伊藤ハム米グループは、伊藤ハム米グループ理念及び伊藤ハム米グループ環境理念を実現するために、以下の環境行動指針に従って事業活動を展開します。

- 1. 法令遵守**
国内外の環境関連法・規制・条例・協定を遵守し、自主管理基準を定め環境保全活動に努めます。
- 2. 環境負荷の低減**
省エネルギー、省資源、及び廃棄物・温暖化物質・オゾン層破壊物質の排出削減を図るとともに、廃棄物の資源リサイクルを推進し、循環型社会形成の対応と地球環境負荷低減に努めます。
- 3. 生物多様性の保全**
森林や河川などの自然環境保護活動を推進し、生物多様性の保全に努めます。
- 4. 環境保全活動の継続的改善**
環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期的な見直しによる環境保全の継続的改善を図ります。
- 5. 自主管理の徹底**
外部・内部監査を定期的実施し、自主管理の徹底を図ります。
- 6. 環境教育及び意識醸成**
社内外の環境教育及び社内広報活動を通じて、従業員に伊藤ハム米グループ環境方針の理解と環境保全意識の向上を図ります。
- 7. 社会との共生**
社会との対話、環境保全活動への参画により、社会との共生を図ります。
- 8. 環境情報の開示**
伊藤ハム米グループの環境に関する情報を適切に開示します。

環境マネジメント

環境保全活動の効果を高め、持続可能な社会の構築に貢献していくために、主要な生産拠点において、環境マネジメントシステムを構築・運用し、環境保全活動を推進しています。

● 外部機関による評価

伊藤ハム米グループの生産施設では、ISO14001やエコアクション21の外部認証を取得しています。社内監査のほか、外部認証機関による環境マネジメントシステム検証などを通じて、更なる改善に取り組んでいます。



● 環境監査の実施

環境汚染や環境事故を防止し、環境保全活動の更なるレベルアップを図るために、事業所ごとで環境監査を実施しています。また、監査室が、年度の計画に基づく主要事業所に対する内部監査において、環境に関する監査も実施しています。環境関連法や、環境保全協定などで定められた規制値を守るとともに、指摘事項には迅速に対処し是正を図ることで、法令の遵守を徹底しています。



監査室による環境監査

● 環境マネジメントシステムの緊急時の処置手順に沿って、定期的に訓練を実施しています

緊急時の対応策として、汚水や重油、薬品の漏洩など、環境汚染を引き起こすような突発的な事故を想定し、その影響の拡散を防ぎ、汚染を最小限にするとともに、早期に修復するため、定期的に訓練を実施しています。

万一事故が発生したときには、社内間の連絡と必要に応じて行政機関や地域住民への連絡を円滑に行うように規程を定め運用しています。

工業用水処理設備異常の訓練



配電盤内確認・切替

注入ポンプ確認

現状確認

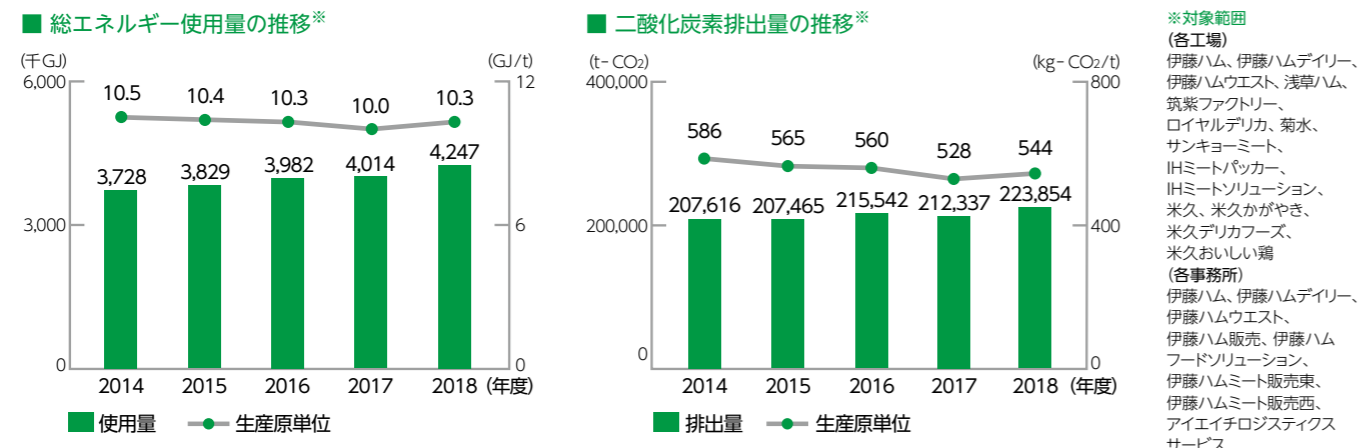


環境負荷低減の取り組み

環境課題の解決に向けて、食品廃棄物のリサイクルやCO₂排出量の削減などに取り組んでいます。

● 総エネルギー使用量・二酸化炭素排出量の推移

効率の良い冷凍機や変圧器、LED照明への更新などにより、省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減を推進しています。



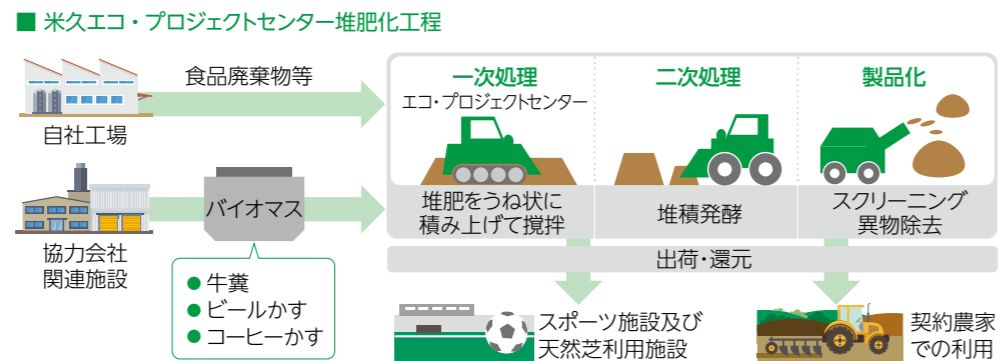
● 太陽光発電設備を導入

伊藤ハム米久グループでは、環境活動の取り組みの一環として、太陽光発電設備を設置しています。伊藤ハム西宮工場では、地域の方々が環境問題を考えるきっかけとなることを願い、JR神戸線沿いの見通しの良い工場屋上南側に太陽光パネルを設置し、米久本社物流センターでは、発電した電力全量を電気事業者に売電しています。これからも施設の有効活用を図るとともに、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの普及に努めていきます。



● 食品廃棄物のリサイクル

米久エコ・プロジェクトセンターでは、自社工場や協力会社から排出される食品廃棄物をリサイクルし、良質な肥料を年間約500t生産しています。作られた肥料はさまざまな用途で使用され、環境負荷低減に貢献しています。



● 環境配慮製品 (製品包材など)

『朝のフレッシュ 糖質0&塩分25%カットシリーズ (ロースハム・ハーフベーコン)』では、包装材料の一部 (10%超) に植物由来のバイオマスプラスチック (サトウキビ由来のポリエチレン) を使用し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます (年間CO₂排出量、約9.5トン削減見込み*)。



※ 2018年度の包材使用量に基づき算出

生物多様性保全・環境コミュニケーション (環境教育)

環境保全活動や、地域貢献の一環として、ボランティア活動などを行っています。

● 富士山麓の森林保護活動

「しずおか未来の森サポーター」協定に基づく森林整備活動を、富士山こどもの国で実施しています。ヒノキの根元まで日の光が届くよう、地面を覆う草を刈りとり、ヒノキの間に生えた樹木を切る作業を行っています。



● 「こうべ森の学校」の森林ボランティア活動

市民・行政・企業が協働し、植樹や間伐といった森林の手入れはもちろんのこと、間伐材などの森の恵みを利用したログハウス、木工品の制作など、多様な活動を展開しています。

Voice

「こうべ森の学校」の森林ボランティア活動参加者から

入社以来、さまざまな社会貢献活動に携わる中、「こうべ森の学校」にも参加し、森の手入れや木工工作、苗づくりを行っています。

100年前は、植生が荒れ果てていた再度山が、その後の緑化活動により豊かな自然になりました。木が生い茂り、光が遮られている森を手入れすることで、陽光が地表に届く喜びを感じられます。初心者の方でもスタッフが丁寧に講習しますので、安全に楽しく活動ができます。皆様のご参加をお待ちしています。



● 千本浜海岸清掃

米久では、本社所在地である沼津市の環境や景観を守ることを目的として、千本浜海岸に落ちているカンやビン、ペットボトル、漂着物などのごみを拾う清掃活動を行っています。



Voice

千本浜海岸清掃活動参加者から

たくさんのゴミを拾ってすがすがしい気持ちになりました。千本浜海岸は富士山と駿河湾の眺望が素晴らしい場所です。景観を守り、地元へ貢献できる、とても良い活動だと思います。

伊藤 浩 (人事)